

< 特別寄稿 >

正山征洋先生のご厚意で所蔵されている「ボタニカルアート」の一部を紹介していただく事になりました。大変貴重で興味深く、芸術性も高い作品に加え先生自ら解説されています。

ボタニカルアート

九州大学名誉教授・長崎国際大学名誉教授

正山征洋先生



第62回

ボケ



左上がボケで、左下がハルリンドウに近い種です。右上はエニシダの仲間、右下はツツジの一種です。

薬用にはボケの果実が使われます。ボケはバラ科に属する低木です。春、赤や白の花を開き、秋口に香りの良い果実が熟します。果実はアルコール漬けにする事が多く、香りの良いリキュールとして楽しめます。

薬効としては咳止め、去痰作用、浮腫や夏バテによる体のだるさ等に用いられます。

本画はMaundによる1800年代初期の作品です。